

# 地方自治体の権限奪って工事強行

# 辺野古新基地は 今すぐ中止を!

自民・公明政権は、国が地方自治体の権限を奪う「代執行」という強権的な方法で、沖縄県名護市辺野古・大浦湾の豊かな海を埋め立て、新しい米軍基地を造ろうとしています。11月13日には、昨年12月の「代執行」後初めて、新たな海域で土砂投入を開始しました。

## 普天間基地の危険性除去は 無条件撤去でこそ

辺野古の新基地建設は、「世界一危険」と言われる宜野湾市・普天間基地の危険性除去を目的にした「移設」だというのが政府の説明です。しかし米軍機の夜間・低空飛行や、繰り返される米兵の性的暴行事件について、日本政府は抜本的な対策を講じようとしません。

普天間基地の危険性除去は、普天間基地の運用停止と撤去でこそ実現できます。



## 対話の 枠組みを

政府は今、近隣諸国の「脅威」を挙げて、軍備増強に数兆円もの税金を注ごうとしています。戦争を回避するためにすべきなのは基地増強ではなく、憲法9条の立場で外交に徹し、東アジアの対話の枠組み作りと非核化に力を注ぐことです。



## 米兵犯罪根絶を！ 不処罰を許すな

沖縄の米兵による性的暴行事件が相次いで発覚しました。問題は県警や国が事件を隠ぺいし、岸田首相(当時)は米国大統領と対談する機会がありながら何も言及しなかったことです。県が把握できないことで被害者のケアの機会が失われ、犯罪への対策が講じられないために次の事件を防げなかった可能性もあります。

米兵犯罪の根底にあるのは、日米地位協定で特権を与えられ、日常的に殺人訓練を行う米軍基地の存在です。市民生活とは相いれません。

辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地撤去を求める署名にあなたも!

日本平和委員会 2024年11月発行  
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです  
「平和新聞」(旬刊)、「平和運動」(月刊) 発行中  
<http://j-peace.org/> (t) (f)

